

松庵町会より



災害に対する自宅での備えは万全ですか？

東京にはさまざまな災害リスクが潜んでいます。いつもの暮らしに少しだけ手を加える、小さな備えの積み重ねが、多くの命を守ります。今からできる準備を進めましょう。

「日常備蓄」で災害に備えましょう

「日常備蓄」は、災害に備えて特別な準備をするのではなく、普段使っているものを常に少し多めに用意しておくことです。

備蓄品の種類や量は、家庭構成や家族状況によって異なります。まずは3日分、できれば1週間分を目標に備蓄を進め、災害に備えましょう。

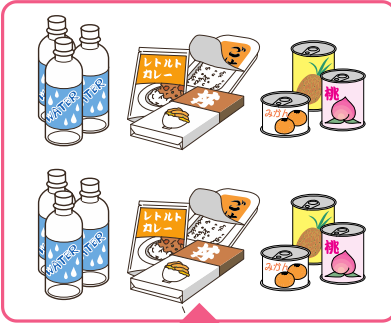


東京防災公式キャラクター
「防サイくん」

東京都で勧めている日常備蓄のイメージ

STEP 1

少し多く購入



STEP 2

使う・食べる



古いものから順に消費

STEP 4

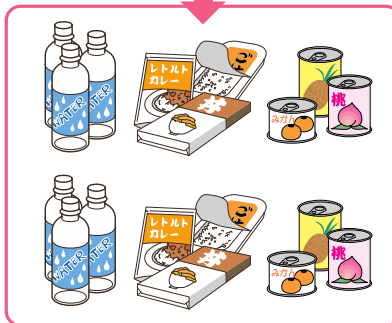
使う・食べる



常に少し多めの状態をキープ

STEP 3

減った分を補充



災害時に必要なもの

(被災地で重宝した品目)

- カセットコンロ
 - 懐中電灯
 - 簡易トイレ
 - 充電式ラジオ
- など



女性の場合は、生理用品、乳幼児・高齢者がいる家庭ではオムツなどを常備

出典：「日常備蓄」で災害に備えよう（東京都総務局）

松庵町会から皆様へ

近年大規模災害が各地で頻繁に発生しています。わが町でも、いつインフラ（電気・ガス・水道・物流）停止に見舞われるかも知れません。

松庵町会は、区の各種防災対策に協力・連携しつつ「自分たちのまちは自分たちで守る」という考えに基づき、地域での防災活動を行っています。未加入の皆様も町会へ参加して一緒に防災活動をしませんか？

松庵町会 会長 奥田義郎

*本チラシは東京都助成金で町会地区全戸に配布しています。



町会ホームページ

東京都からのお知らせ



災害はいつ起こるかわかりません。

日ごろの備えが大切です。

家族や地域の方々と、できることから始めましょう。

「備えよ、常に！」

東京都知事 小池百合子

地震発生

首都直下地震が発生すると、
建物倒壊や火災など様々な被害により、
生活に大きな影響がでます。



↑詳細はコチラ

発災直後

- ・揺れによる**家具の転倒**により下敷きとなる可能性
- ・電力、上下水道、ガスなど**ライフライン**が途絶し、生活に大きな支障
- ・マンションでは水道が供給されても、**当面トイレ**が利用できない可能性
- ・**携帯電話**はつながりにくく、スマホの**バッテリー**が切れると家族との連絡が困難に

・家具転倒防止対策や災害時の家族との
連絡方法※の確認を行いましょう。



災害用
伝言ダイヤル
171

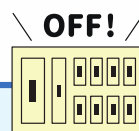


※ 災害用伝言ダイヤル(171)等で、家族の安否確認メッセージを登録・確認できます。

3日後

- ・電力が復旧した際、倒れた電気ストーブや照明器具に接触する可燃物から**通電火災**が発生する可能性
- ・被害状況によっては、**ライフライン**の復旧や**計画停電**が長期化する可能性

・避難時は、必ずブレーカーを落としましょう。



- ・避難生活の継続により**ストレス**などが増加
- ・スーパー・コンビニでは、**生活必需品の品薄状態**が継続
- ・点検終了まで**エレベーター**が使用できず、外出等が困難

・避難生活に備え、水や食料、携帯トイレ、
常備薬等を備蓄しましょう。

